



南武橋架橋工事終わり、艀装・舗装工事が続く



新旧南武橋、道路切り替えが終われば右側の旧橋撤去される。



護岸構造が変わった武庫川橋付近



樋ノ口工区の土砂掘削（工事中断した模様）



武庫大橋右岸上流（除伐前）



武庫大橋右岸上流（除伐後）これが普通の景色だと思うが

南武橋架橋工事は予想以上に順調に進み豊水期に入る前に工事用足場も撤去された。作業足場が流下障害になり洪水で越水・破堤を危惧するという声も聞かれたが、障害物一式撤去され架橋工事に関わる洪水被害の恐れもなくなった。武庫大橋から河口部に掛けて行われていた、一部拡幅低水護岸改修。堤防強化工事も順調に進み、昨年の19号台風のような降雨でも無い限り、下流域では改修工事に関連する危険箇所は見あたらない。

天王寺川など支川部の改修工事も進み、支川の流下能力向上。鴻池西橋付近の溜池への取水口付近も整備改修された。天王寺川・天神川流域で極端な天井川状態を呈する地域でも溢水の恐れは軽減され豊水期を安全に迎えられる。

武庫川起点から河口まで各所で部分的な河床掘削・除伐・除草工事が実施され、コロナ休校、外出自粛期間が長引いた為か、散歩・ジョギングなどで河原を訪れる人が増え、整備計画に基づいて進む河川改修工事や通常の河川維持管理に伴う作業が人目につき、樹木伐採、河床が掘削など日毎の変化に気づき、緑を大切に思う人は「木を切るな」野鳥好きな人は「あの木残せ」虫好きな人、魚好きな人それぞれ思い入れがあるようで、現場の作業員に、顔色変えて苦情を言う人がいる。無関心の人も居たが筆者が接した範囲では除伐・掘削の意味を理解し好意を持って見ていた。